

は

っ

ぴ

よ

う

か



絵本の星

議会だより

# けんぶち



コロナ対策・物価高騰対策.....	2
第3回臨時会・第3回定例会.....	3
産建文教・総務厚生所管事務調査.....	4
一般質問 3名が登壇.....	5~7
みんなの声がまちづくり.....	8

# No.140

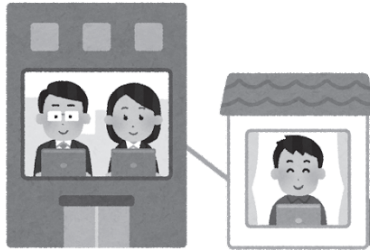
2022年12月発行  
(令和4年)

発行：剣淵町議会  
 編集：議会広報特別委員会  
 〒098-0392 剣淵町仲町37番1号  
 ☎0165-26-9020 (直通)  
<https://www.town.kembuchi.hokkaido.jp>

# 新型コロナウイルス感染症対応事業地方創生臨時交付金

## 総務 テレワーク(在宅ワーク)導入事業 リモートデスクトップサービス一式

職員がリモートで  
業務を行うための  
設備一式



**110万円**

## 総務 庁舎感染症予防対策 備品購入事業

非接触型検温装置2台  
加湿空気清浄機 2台  
抗原検査キット 200個



**150万円**

## 総務 地域公共交通維持、 確保応援事業

1事業者支援  
(道北バス)



**400万円**

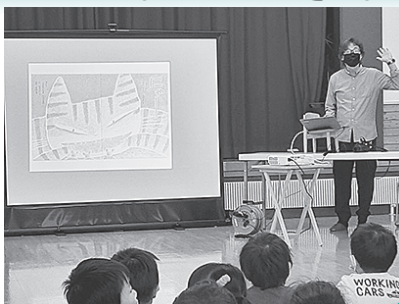
## 第2次物価高騰 燃料高騰対策

**1157万円**

## 主な使い道

## 住民 保育所感染拡大防止対策 環境整備事業

iPad 2台  
プロジェクター  
その他



**43万円**

## 健康福祉 高齢者世帯等 生活支援事業

低所得の高齢者及び  
障がい者世帯に対し  
共通商品券  
12,000円/世帯に配布



**440万円**

## 教育 絵本の館感染症予防対策 備品購入事業

加湿空気清浄機  
1台



**7万円**

## 高校 高等学校修学旅行 キャンセル料補助事業

3,917円×18名



**7万円**

### 第3回臨時会 7/29

一般会計と介護保険事業特別会計補正予算の審議を行い原案どおり可決しました。

#### 補正予算

#### 新型コロナウイルス感染症対応 地方創生臨時交付金など

● 一般会計に775万円を追加しました。

主な内容は、住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金160万円、高齢者世帯等生活支援事業440万円、子育て世帯生活支援特別給付金事業53万円、保育所施設用備品5万円、レークサイド桜岡ろ過器点検手数料7万円などです。

【地方創生臨時交付金の内容については、2ページで特集を組んで紹介しております。】

● 介護保険事業特別会計に18万円を追加しました。

主な内容は、手数料・通信運搬費です。

### 第3回定例会 9/21

定例会では一般質問に3名が登壇。町長から提出された議案は、条例の一部改正、一般会計・特別会計補正予算、工事請負契約の締結、人事案件で計10件、報告は、令和3年度普通会計健全化判断比率及び公営企業会計資金不足比率の報告、所管事務調査報告など2件を審議しました。

本定例会に提出された議案は原案どおり全て可決しました。

#### 補正予算

#### 新型コロナウイルス感染症対応 地方創生臨時交付金関連等

● 一般会計に8216万円を追加しました。

主な内容は、抗原検査キット購入費30万円、住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金190万円、非接触型検温装置(2台)購入費120万円、生活交通路線(道北バス)維持費助成金400万円、リモートワークシステム利用料110万円、保育所施設用備品43万円、農地利用効率化等支援交付金1152万円、国産小麦産地生産性向上事業補助金3040万円、持続的畑作物生産体系確立緊急対策事業補助金799万円、



今冬の除雪作業から使用する除雪トラック

食のふる里館パコティンヒーター更新工事383万円、森林経営管理制度調査調整業務委託料193万円、購買促進プレミアム付商品券事業補助金400万円、除雪トラック(道払い下げ)購入費101万円、絵本の館空気清浄機購入費7万円などです。

● 国民健康保険事業特別会計に29万円を追加しました。

主な内容は、タブレット端末リース料13万円、北海道クラウド等負担金16万円です。

● 介護保険事業特別会計に1487万円を追加しました。

主な内容は、国・道負担金等精算返還金1268万円、一般会計操出金219万円です。

#### 教育長の選任に同意

#### 人事案件

#### ● 教育長の選任



金村 良則氏 (新任)  
住所 元町6番18号  
任期 令和4年10月6日  
~令和7年10月5日

#### 教育委員の選任に同意

#### ● 教育委員会委員の選任



阿部 隆徳氏 (新任)  
住所 元町24番7号  
任期 令和4年10月1日  
~令和8年9月30日

#### 議会決議

● 閉会中の継続調査の申し出  
● 懸案事項の促進及び調査のための議員派遣

#### 要望意見書

● 次の1件を採択しました  
● 国土強靱化に資する社会資本整備等に関する要望意見書  
要請団体：北海道町村議会議長会

# 産建文教常任委員会 所管事務調査

## 土木調査箇所及び内容

- 1 調査日 令和4年8月29日
- 2 調査事項 土木調査
- 3 調査の所見

現地調査となった18件のうち8件を実施可とした。今回は、耕作地の排水、町道雑木の枝払い、道路舗装面のクラック、橋梁の橋面破損等の要望があった。調査では、耕作地排水トラフの設置と土砂上げについては、地元資源保全組合などと連携した排水機能の維持管理が求められ、舗装道路経年劣化による損傷補修は、年次計画を作成するなどの対応が求められる。町の限られた予算のなかで、住民と話し合い、緊急性に十分配慮しながら、多額の費用を要する場合は年次計画で対処し、効果的な施工に努めるとともに、関係課や関係機関・団体との連携調整を図りながら災害等に対応できる基盤整備づくりを今後も強く求めるものである。



	自治会	箇所及び要望内容	可否	調査結果
1	元町	東3丁目通り北2条 (U字溝設置)	不	現時点では緊急性が見受けられない
2	屯田町	町道西2丁目 (舗装道路補修)	保	来年度以降局部的に舗装補修予定
3	〃	町道南10号 (道路法肩崩れ復旧)	保	来年度以降勾配など調査検討し施工予定
4	西岡町	2線 (側溝トラフの土砂上げ)	不	土地改良区の排水路の為、改良区へ要請
5	〃	4号小沢川付近 (側溝トラフの土砂上げ)	不	土地改良区の排水路の為、改良区へ要請
6	〃	7線橋 (橋の橋面舗装が破損)	可	来年度以降施工予定
7	〃	3号7線 (側溝の土砂上げ)	保	作業が困難な為、工法等を検討する
8	〃	3号7線 (U字溝の設置)	不	U字溝の設置は不可、水の流れの阻害をとる措置を考慮
9	〃	9線 (雑木の処理)	可	来年度以降道路用地のみ施工予定
10	西原町	3号道路 (排水床浚い)	可	勾配や阻害箇所を特定し令和5年度以降施工予定
11	〃	12線4号 (排水床浚い)	不	排水機能は満たしている
12	〃	13線川 (土砂上げ)	可	土砂の堆積が見受けられる為、令和5年度以降施工予定
13	〃	松井川 (トラフ設置)	不	土地の境界排水なので施工は見送る、緊急時は対応検討
14	旭町	7号道路5線から8線 (舗装面の亀裂補修)	不	町全体をみて優先順位が低い
15	東町	町道智取満布2線 (樹木伐採)	可	年次計画をたてて施工予定
16	〃	町道弥栄線 (樹木伐採、道路補修)	可	町全体の路面補修の進捗を考慮し検討
17	〃	刈分川西側 (樹木伐採)	可	見通しが悪い一部伐採予定、全体は育成状況により検討
18	〃	町道美羽烏線 (樹木伐採)	可	植生が進む前に来年度以降伐採予定

# 総務厚生常任委員会 所管事務調査

- 1 調査日 令和4年11月4日
- 2 調査事項 愛別町富沢衛生センター (愛別町外3町塵芥処理組合)
- 3 調査の所見

本年10月より可燃ゴミの処理委託を依頼している富沢衛生センターの現状の調査を行った。



廃棄物処理施設・リサイクル施設・基幹的設備改良事業を合わせて総事業費が約65億円 (うち国庫補助金約11億円) というスケールの大きさ、OA化された施設には目を見張るものがあり、コンピューターによる安定燃焼制御を行い、

1日50トンのゴミを焼却し、今さらながら人口減少が続く剣淵町で自前の施設取得は非常に難しいことと再認識したところである。排ガス処理、浸出水処理を始めとする公害防止対策・リサイクルセンター・産廃処理施設も充実している。現在のゴミ処理施設は平成10年3月 (24年経過) に竣工されており、施設職員 (施設単独) は6名、委託職員23名の29名であり、広大な施設を効率よく運営している印象があった。今後は新たに一般ゴミ埋め立て処分場の敷地確保が必要となってくるようである。



管理制御室



竹内佳明 議員

# コロナ禍の現状と今後の町内活性化策について

**町長** 従来のイベント内容を検証し、より町民が参加しやすい楽しめるイベントを行いたいと考えている

**竹内佳明 議員**

第7波の感染拡大により町内でも多くの感染者数を記録しており、町民に対する正確な情報の発信も必要と思うが、住民周知方法について基本方針等を伺いたい。

**早坂 町長**

保健所からの情報は、当初から詳細なものではない。上川総合振興局からは、災害時対応の観点から、令和2年7月8日より自宅療養者の氏名等を含む情報提供で、どちらも国が示す基本方針に沿うものである。情報は、新型コロナウイルス感染症対策本部において携わる関係者数人で、プライバシーに配慮したなかで慎重に取扱ってきた。

**竹内 議員**

第7波の感染だけでいくと184名で保育所や高齢者施設、福祉施設で非常に多く発生していた。町民に、より正確に知らせる必要があったのではないかと思うが。

**早坂 町長**

7月から9月の前半にかけてクラスターが3か所で発生していたのが現実。無線なり広報・回覧等でクラスターが発生したことは、一般的に知らせづらく、基準的な広報のなかで、町民の皆様にお知らせした。

決して秘密にしたという考えはない。町内では、誹謗中傷が無いと認識しており、ご理解はいただけたものと思う。

**竹内 議員**

町民のなかで、ホームページでコロナ感染状況を逐次、把握するのは一握りだと思う。町で最大一週間で35名感染したときがあり、今後このように感染が多くクラスターのなるものが発生した場合は、防災無線で町民に何らかの情報を流すことは可能か。

**早坂 町長**

対策本部で検討して善処したいと考えている。

**竹内 議員**

町内でのイベントや行事の自粛中止が相次ぎ、従来出店していたグループも撤退を余儀なくされている。支援も必要であるが、何よりも町民が安心して各種行事やイベントに参加できる様な町内活性化策は。

**早坂 町長**

夏まつりを廃止し新たなイベントを実施したが、コロナ禍を機に従来の内容を検証し、次年度以降もより町民が参加しやすく楽しめる内容で実施していきたいと考えている。

**竹内 議員**

今まで高齢者も含めて参加しやすい行事や自治会単位で参加できるイベントも実行委員会が解散して無くなった。町民が集まり、飲食店を利用しながら交流を深めるような事業が必要で、自治会単位の小規模な運動会も活性化には欠かせないと思うが。

**早坂 町長**

観光協会、商工会、JAとも話し合っており、「味覚祭り」のようなことが出来ればと考えている。

**竹内 議員**

飲食店に対する支援、給付金について、第二弾、第三弾の方策はあるか。

**早坂 町長**

コロナ給付金については、国の目的使用があるので、それらと照らし合わせながら、出来ることからやっていきたい。

**竹内 議員**

コロナ禍では窓口含めてのDX化等も必要であり、行政全般の進捗状況や検討結果を伺いたい。

**早坂 町長**

DX化全般については、国の動向、国からの財政支援を見つつ、適宜、適切な対応に努めていく。



岡 康照 議員

# デジタル化推進のため専任の職員を配置すべきでは

**町長** ワーキンググループを立ち上げ、本町のIT化はどうあるべきか検討していきたい

**岡 康照 議員**

「コロナ禍を機に、DXが急速に進み始めた。DXとは組織のあり方を根底から見直すような改革であり、デジタル化推進のため兼務ではなく、専任の職員を配置すべきと思うかどうか。」

**早坂 町長**

目指すべきデジタル社会のビジョンとして、自治体においては、自らが担う行政サービスについてデジタル技術やデータを活用して住民の利便性を向上させること、AI等の活用により業務効率化を図り、人的資源を行政サービスの更なる向上につなげていくことが求められている。現在、情報関係は総務課企画財務広報グループの財政・企画及び広報担当が兼務しているが、他の市町村では、すでにDX担当課・担当係を立ち上げ、DX推進を図る市町村が増えていくことは承知している。役場全体の職員数、適正な職員配置を鑑み総合的に検討し判断すべきものと考えている。

**岡 議員**

自治体においてデジタル化に向けて本町で何ができるのか、じっくり計画を練りながら進め、ゆく

ゆくは積極的にデジタル技術やデータを活用し、企画立案や部門間の総合調整、全体方針や個々のDXの取組みの進捗管理等を行うことが期待される。こういった役割は従来の情報政策担当が担ってきた役割と違うことから、まずは専任の職員をそこに配置し、その後

に専門性を持った人の力を借りながら、進めるのが良いのでは。」

**早坂 町長**

現状、情報関係を兼務している職員、事務改善検討委員会、関係する担当課で検討会議を開いて対応している。何人も配置するという状況は人件費の関係から難しい。

**岡 議員**

そういったなかで、うちの町では何をやるのか、何をやらなければならぬのか。今後、ペーパーレス化をはじめ、自治体の情報システムの標準化・共通化、マイナンバーカードの普及促進、行政手続きのオンライン化、テレワークの推進、セキュリティ対策の徹底などが想定されている。

社会保障費は増加し財政の見通しは厳しくなる一方で、2040年に向けては自治体の職員数も減っていく。そのようななかで重要課題にどう向き合っていくのか。

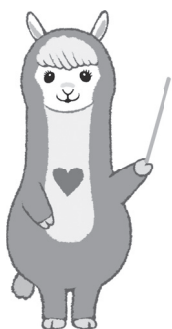
職員がやる仕事、時間にも限界があり、どのように生産性を上げていくのか。目指すのは住民の利便性を向上するとともに、自治体の人的、財政的負担を軽減する職員の働き方改革であり効率化であるが、現状の検討体制でいいのか。」

**早坂 町長**

事務の改善やデジタル化はやささかではなく、対町民との部分では、町民が行政とのやり取りがしやすい形、町民を主体に考えていかなければならない。決してITを否定するわけではなく、やるべきだと考えている。

内部的な組織としてワーキンググループを立ち上げ、うちの町のIT化はどうあるべきか、問題がどの位置にあるのか検討し、できるものから手掛けていきたい。

※DX（デジタルトランスフォーメーション）とは…デジタル技術を浸透させることで人々の生活をより良いものへと変革すること。既存の価値観や枠組みを根底から覆すような革新的なイノベーションをもたらすもの。





佐藤宏和 議員

# 農業における担い手支援対策について、新規就農を促す積極的な取り組みが必要ではないかと思うが

**町長** 課題の解決に向けて先進事例を研究し、第三者継承や地域おこし協力隊の制度を活用した新規就農者の募集などにも取り組んでいきたい。

佐藤宏和 議員

農家戸数は現在245戸、5年前から比べると50戸の減少となっている。この状況が続けば地域の活動や関連する産業の衰退は避けられない状況にある。このことから、農業担い手支援事業の予算増額や町外からの新規就農を促す農業体験実習や地域おこし協力隊の積極的な募集、さらには第三者農業経営継承の積極的な取り組みが必要ではないかと思うが。

早坂 町長

これまで総合計画、農業振興計画を基本として様々な取り組みを進めてきたが、結果として農業者の減少を止めるまでには至っていない。令和3年度、「農商工業新規就業奨励金支給事業」は2件、「農業担い手育成支援事業」は1件に留まっているのが現状である。新規就農希望者を受入れるための取組みについては農地取得、資金問題、営農スキルといった課題もあるなかで、先進事例を研究し課題のクリアの方向性が出た際には土地利用型ではなく第三者継承や地域おこし協力隊の制度を活用した新規就農者の募集などに取組ん

でいきたい。毎年、農業研修等受入協議会の協力を得ながら、農業体験希望者を募集し受入れを実施しており、近年はコロナ禍の影響で応募者数も低調だが、今後も継続していきたい。



農業トライアルツアー実習風景

佐藤 議員

新規就農奨励金などももう少しあれば、新たに自分の子どもたちが町外から戻って来る大きなきっかけになるので、検討をお願いしたい。10年、20年先を見通したときに、剣淵町の農村風景が寂しくならないよう、第三者継承や地域おこし協力隊の制度などを活用し、危機感を持って農家にも理解を得

ながら進めてほしいが。また、労働者不足が解消されないなか、高齢者事業団や派遣会社などに対しても支援対策があればと思うが。

早坂 町長

新規就農にむけた地域おこし協力隊の募集については、農家との一定のルールを作って、検討していきたい。第三者継承については、先進地の事例を参考にしながら課題を整理し、計画的な離農であれば、可能性もあるし必要と考えているので、今後検討していきたい。最後に高齢者事業団や派遣会社などの支援については、年々農業労働者が不足しているなか、高齢者事業団や人材派遣会社の利用が徐々に増えてきている。農業現場における労働者不足は非常に大きな問題と考えており、対策としてJAのコントラクター事業に対して支援を実施しているが、人件費に対する支援や派遣組織に対する支援は、町の厳しい財政状況のなか、難しいと考えている。



# みんなの声 まちづくり

東町/「学び舎ひらなみ」自治会副会長 大川ゆみ子さん

## 剣淵の良いところ、足りないところは？

農業と福祉の町で自然豊かでとても暮らしやすいところだと思います。

人口が年々減って町に活気がなく、商店街のにぎやかさが少ないことです。

## 未来の剣淵はどんな町になっていたらいいと思いますか？

若い人が剣淵に住みたいと思えるような明るい町になって、子ども達も沢山いて、楽しく遊ぶ姿を目に出来る町になって欲しい！

高齢になっても豊かな生活ができ、安心安全に暮らせる町になっていたらいいなと思います。



西町/親元就農のためにUターンされた 高井隼人・美里さん・湊新ちゃんファミリー  
(そあら/2歳半)



## 剣淵の良いところ、足りないところは？

空気が良く、のんびりしていて落ち着いて子育てが出来るところです。

幼児用の屋外遊具が少ないと思います。

スーパーが無くなったのでじんじん号の拡充が必要だと思います。

## 未来の剣淵はどんな町になっていたらいいと思いますか？

絵本の里のブランドを利用し、販路を開きネットを活用して農産物を売り込んでいったらいいと思います。

ドローンを利用して観光に力を入れ、周りの町村と連携して元気ある町になってほしい。

## 【3】町議会議員研修会

10月6日、市民センターにおいて標記研修会が開催されました。道町村議会議長会次長永井輝之氏を迎え「求められる議会、議員活動」と題して、1. 議員活動、議会運営の基本、2. 一般質問について、3. 求められる議会・議員活動について、各々平易で解りやすく、丁寧な言葉で説明を受け、議員総勢27名、事務局6名が熱心に耳を傾けていました。



## 【上】管内町村議会議員研修会

10月26日、旭川市公会堂において、標記研修会が開催され、「道北はコロナ禍をチャンスにできるか」（日本総合研究所 所長 研究員、藻谷浩介氏）及び「北海道の防災教育、被災者支援の充実に向けて」（剣淵町出身、東北大学災害科学国際研究所助教授、定池祐季氏）と題した講演を受けてきました。

藻谷氏は『大都会が様々な分野で頭打ちとなっている状況のなか、道北地方はまだまだ伸びしろがあるので新しい考え方を持ってほしい。』定池氏は、『災害はいつどこで起きてもおかしくない。その時その場にあつた身を守る行動ができるようにしなければならぬ。』と、お二方とも経験に基づいて話をされていました。たくさんの参加者は興味深く聞いていました。